

日本共産党平塚市議会議員団

安心して子育てできるために

松本 敏子 議員

保育の質の確保

問 今後整備される小規模保育施設の安全性を伺う。健康・こども部長 小規模保育施設の認可や監査は市が行う。保育室の面積や保育士配置数などは認可保育所と同等の基準であり、安

全性が劣るものではない。問 3歳以後の受け入れはどのようにしていくのか。健康・こども部長 小規模保育施設は2歳までであり連携の施設を検討する。

就学援助制度

問 国は生活保護基準を引

き下げようとしているが、就学援助への影響を伺う。健康・こども部長 国や近隣市町の動向を注視し、真に必要な人のためになるよう制度を運用していく。

問 小学校入学前の入学準備金支給の方向性を伺う。健康・こども部長 現在、課題を整理している。平成30年度の実施に向け進めていきたい。

問 就学援助には給食費も

含まれる。本市は中学校給食がないため必要保護の家庭に給食費の支給がなく制度に差が生じている。早急に解決すべきではないか。学校教育部長 見逃すことができない部分であり、その視点も踏まえて中学校給食の在り方を検討する。



高山 和義 議員

無所属

市有地の賃料も払わない、利権も離さないOB天下り団体

柏木 徹 議員

問 スポーツ課が管理するパークゴルフ場を除く施設の自動販売機の設置者は平塚市まちづくり財団で、年1回の業者との契約を代行するだけで多額の手数料収入をあげていた。スポーツ課はこの旧弊を断ち切り、

自動販売機手数料の適正化を実現した。まちづくり財団は総合公園の自動販売機の設置者として、平成28年度に1066万円の手数料収入をあげている。業者との契約を代行するだけで約

1千万円。とてもおいしい仕事である。開園以来四半世紀以上、前身の公社の時代からまちづくり財団がしがみついた離さない既得権である。スポーツ課は直接契約を実現したが、総合公園課にはできないのか。都市整備部長 契約のことだけであれば確かにできると思うが、現在の形態が望

ましいという判断をした。問 総合公園の自動販売機設置契約を見直せば、手数料収入が2360万円拡大する可能性がある。2360万円あれば、毎年一棟のトイレの全面改修が可能である。公園利用者から得た収入を、利用者の利便性向上を用途とする特定財源化することは、法律上、また制度上可能であるか。企画政策部長 制度上は可能である。

問 平塚市民病院の夜間保育を一般市民に開放すべきである。院内保育所「ふたば」では、市民病院に勤務する医療職員の子を対象に週2日、翌日の朝まで保育を行っている。職員は専任8人、兼任3人の11人が保育士資格者として勤務している。市民病院敷地内の東側にあるこの建物は、2階



府川 勝 議員

「平塚市民病院の夜間保育」は市民に開放すべき

建て延べ床面積429・3平方メートルである。そのうち保育所として使用している1階部分は、延べ床面積214・65平方メートルである。2階建て全館を使用すれば、規模にしても

職員の数にしても、夜間保育をはじめ児童を保育できる十分な余力があると考えられるが、見解を伺う。市民病院事務局長 近年、全国的に保育士の確保が課題となっており、特に夜間保育に従事できる保育士を確保することは非常に困難で、これは保育単価の上昇につながり、病院経営を圧

迫する。また、市民病院が保育所を運営する場合、国などからの補助が期待できないことから、一般利用者の保育料は高額になってしまふ。院内保育所は職員確保策として事業を実施しているものである。今後この事業を安定して継続するため、市民には開放できない。



端 文昭 議員

業者に6億円値引きと優遇策 駐車場有料化は誰のためか

は、30年度は約28万円だけであるが、見解を伺う。環境部長 持続可能な社会を目指すため、現段階では今の方式が良いと考える。

問 市役所などの駐車場は地方自治法第14条第2項に違反したまま有料化した。市長の見解を伺う。企画政策部長 駐車場利用者へ義務を課し、又は権利を制限すべき公共サービスであるとの認識はない。

問 目的外使用にかかる使用料に関する条例第2条で算定される使用料を定めるのは適切でなく、第5条の「特別の事情」に該当し、減免が必要であると認識する。問 市長特権を使って特別扱いをした理由は何か。企画政策部長 民営の行政サービスができ、「特別の事情」に該当するとの市長判断があった。

問 有料化後の4駐車場の利用台数、売上収入、本市の収入はいくらか。企画政策部長 平成30年1月の利用台数は3万1395台、売上金額は約274万円である。本市の収入は27万円となる。

議場見学にどうぞ

本会議場などの議会施設を見学してみませんか。議会開催期間などを除く開庁日に見学できます。なお、見学には事前に議会局へのお申し込みが必要です。



江口 友子 議員

2億3千万円かけてプラクルを分別し燃やすのはやめよう

問 プラスチック製容器包装(プラクル)を可燃ごみと一緒に収集して市の焼却施設で燃やし、焼却熱を電力に生かす提案をした。平成28年度に焼却施設へ運ばれたごみの24%がプラスチック類であり、プラクル

約3千トンと一緒に燃やしても、プラスチック類の割合が約3%増えるだけである。発熱量は大きく変化せず、焼却炉が停止することはないのではないか。環境部長 設計上の発熱量を超える安定した運転の

継続が難しい。方針を変えるには検証が必要となる。問 ごみ処理事業でプラクルに係る費用はいくらか。環境部長 28年度は、約2億2700万円である。



分別したプラスチックを溶かして燃やした。汚れたきれいなものなど燃やして

問 行政財産の使用を許可したタイムズ24(株)に6億円値引きする理由を問う。企画政策部長 行政財産の

問 市長特権を使って特別扱いをした理由は何か。企画政策部長 民営の行政サービスができ、「特別の事情」に該当するとの市長判断があった。

問 売上金額の90%は業者の収入となる。総合公園駐車場の売上金額の3%が本市の収入で、97%が業者の収入となる。駐車場の有料化は誰のためか。企画政策部長 市民のため

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791

